

学習課題(小学校1年生)



【国語】

〈学習内容〉

◆「かたかなをかこう」（きょうかしよ 36～37 ページ）を学しゅうします。

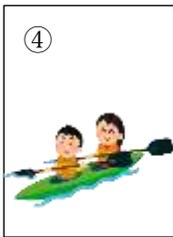
この学しゅうでは、「のぼすおん」や「小さくかく」かたかなに きをつけて、かくことがもくひょうです。

1. つぎのえをとりくみシートやノートにかたかなでかいてみよう。



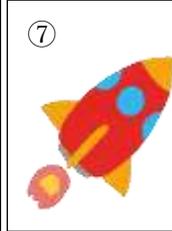
ヒント

のぼすおんに
ちゆういすると、
よさそうだね！



ヒント

小さくかくものに
ちゆういすると、
よさそうだね！



しよしゃのきょうかしよ 32 ページ、33 ページを見て、
にているかたかなのれんしゅうをしてみましよう。

それぞれのえが、なにをあらわしているかわからないときは、
きょうかしよ 36～37 ページを
見てましよう。

◆「ものの名まえ」（きょうかしよ 56～61 ページ）を学しゅうします。

1. つぎのことばをなかまごとにまとめてましよう。



つぎのものは、どのおみせにうっているのかな？うっているおみせに入れてみよう！

りんご・あじ・さんま・えんぴつ・あんパン・しよくパン・
けしゴム・みかん・バナナ・さば・りんご・ノート・
ふでばこ・クロワッサン・たい・カレーパン・なし

れい

さかな

あじ・さんま
さば・たい

ぶんぼうぐ

くだもの



もう一つ、おみせがあるよ！ノートにおみせをかいて、うっているものをかいてみよう！



【たいせつ!】 ことばの中には、「さかな」「くだもの」「パン」「ぶんぼうぐ」など、おみせさんのなまえのように、いろいろなことばをまとめているものがありますよ。

◆「むかしばなしをよもう」（きょうかしよ 42～55 ページ）を学しゅうします。

この学しゅうでは、じぶんでよんだ本の「おもしろかったところ」などをみつけて、「どくしょきろく」として、ノートや学しゅうシートにきろくすることがもくひょうです。

1. きょうかしよ 44～54 ページ「おかゆのおなべ」をよんで、おもしろいところを見つけましょう。

女の子は、心がきれいだから、おばあさんから「おなべ」をもらえたのかな。

「おなべ」をもらって、たべものにこまらなくなったところでおはなしがおわったら、おもしろくないよね。

2. 「おかゆのおなべ」をよんで、見つけたおもしろいところをかいてみましょう。



ところでもいいですよ！ ろは、じぶんのすきな	れい	「おもしろかったところ」は、じぶんのすきなところでもいいですよ！	本のだいいめい おかゆのおなべ おはなしに出てくる人やどうぶつ 女の子とおかあさんと、おばあさんがでてきます。 おもしろかったところ 町の中がおかゆだらけになるところが、おもしろかったです。	じぶんのなまえ
---------------------------	----	----------------------------------	--	---------

3. 「おかゆのおなべ」でかいた、どくしょきろくをさんこうにして、じぶんのよんだ本でもかいてみましょう。

◆「かん字」を学しゅうします。

- ①きょうかしよ、55 ページを見て、「本」「中」「森」「町」「出」「入」をかきじゅんにきをつけて、れんしゅうしましょう。
- ②きょうかしよ、61 ページを見て、「名」「円」「夕」「千」「百」をかきじゅんにきをつけて、れんしゅうしましょう。

<保護者による関わり方のポイント>※可能な範囲でお願いします。

- ・「かたかなをかこう」の学習では、「長音（例：ケーキ）」「拗音（例：キヤ、キユ、キョ）」「促音（例：マッチ）」に気を付けて書きます。書写も合わせて行うことで、書き順や形について学習できます。
- ・「むかしばなしをよもう」では、自分で読んだ本を読書記録という形で残すことで、積極的に本を読もうとする意欲を養い、本の楽しさを知ろうとすることを大切にします。
- ・「もののなまえ」では、上位語（例：くだもの）と下位語（例：りんご）の関係を理解することを目標とします。